



# 学校だより

令和元年 12月 23日  
発行 校長 佐藤昌俊

## 全天候型「餅つき大会」に



本年も恒例の「餅つき大会」を12月7日(土)に開催しました。一週間前から天気を気にしてきましたが、予報は残念ながら悪くなる一方でした。以前、テントを立ててやったことを思い出し、雨の場合はテントを準備してやろうと考えていました。しかし、雨のとき

にやったことを思い出すにつれ、安全面も含めて大変だったことがわかりました。

そこで試しにと、体育館で餅つきを行うことにしました。つく際にお湯を使うので、体育館の床が濡れてしまわないよう十分対処する必要がありました。体育館用のシートを敷き、その上にブルーシートを敷き、さらに臼を設置する場所には床が傷まないよう、ブルーシートで覆った体操用のマットを置いて準備しました。校舎裏のスペースより広い体育館なので、5台の臼も余裕をもっておくことができ、各クラス分かれてお餅をつくのには良好な配置となりました。また、ついたお餅にあんこなどをまぶすのもこれまでは外で行っていましたが、これも体育館の中に長机を置いてそこで作業していただきました。



やはり当日は雨で、予想よりも本降りの状況でした。また、この冬一番の寒さとも言われ、外でやらないでよかったと内心ほっとしました。体育館の中では2機のストーブをつけ、生徒たちの熱気もあり、とても暖かでした。



日本の伝統文化とも言える年末の餅つき、生徒たちはどのようにとらえているのでしょうか。本校には外国につながる生徒も多くいます。もしかしたら生まれて初めて餅つきをした生徒もいたかもしれません。学級の仲間とそして担任やその他の先生と声を掛け合いながら、楽しいそうにつく姿はなかなかいいものです。そして時には、おやじの会のお父さん

や、PTAのお母さん、地域の方も一緒になってつくこともありました。

そして、ついたお餅は「あんこ、きなこ、醤油」の三つの味で食しました。また、PTAの方々が調理した豚汁と、青少年育成推進委員の方々が手作りで提供してくださる「チョコバナナ」もいただきました。学校・保護者・地域と、三者が協力して生徒の活動を担い、支えている、今求められている教育の姿でもあります。この餅つき大会は教職員だけでは行うことのできない行事です。多くの方々の思いと協力があってこそ可能となっています。これからは天気のことを気にせずに行事の設定ができそうです。急な場所の変更にもかかわらず、臨機応変にご対応いただきました、おやじの会の皆様、役員をはじめPTAの方々そして地域の方々に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

# 新たな生徒会事務局員

## 常葉中のリーダーが決まりました



毎年この12月、次の生徒会事務局員を決める生徒会役員選挙が行われます。その取り組みの中でメインとなるのが、立会演説会で、12月13日(金)に行われました。今回は会長1名、副会長1名、書記長1名、書記6名の生徒が立候補してくれました。立会演説会の当日には、一人一人が生徒会の役員としての自覚と責任をもってステージの上に立ちました。この「学校だより」は本校のホームページにも載せますので、ここではあえて氏名は記載しません

のでご了承ください。

候補者は公約を立てて立候補しています。演説会ではその公約について全生徒に理解してもらい認めてもらう必要があります。どの公約も候補者の問題意識に基づいたもので、常葉中学校をよりよい学校にしたいという熱い思いが感じられるものでした。**「あいざつを活性化させる」「生徒が楽しめる場をつくる」「生徒一人一人の悩みを少しずつでもなくす」「部活動の連携を深める」「トークタイムを引き継ぐ」「もっと協力できる学校をつくる」「いじめをなくす」「班長講習会で他学年との交流増やす」「お互いを思いやり楽しく通える学校を目指す」**などが公約として全校生徒に向けて発信されました。

受ける側の生徒たちもしっかりと耳を傾け聞いていました。その姿を見ていると、新たなリーダーのもと、全校生徒が協力し合ってよりよい常葉中学校を築いてくれるのだろうと頼もしく思いました。

生徒の手による自主的な活動である生徒会活動、生徒一人一人が自分ごとととらえ、主体的にこれからの生徒会活動に取り組んでほしいと思っています。そして、公約の実現に向け、新たなリーダーたちの頑張りに大いに期待するところです。



### ◆◆◆◆ 心配しています . . . ◆◆◆◆

ここ最近、地域の方から注意を受けることが続いています。それは登下校のマナーや交通ルールに関することです。先日は車を運転されていた方からの電話でした。正直、本当にお怒りの状況で、予想するに生徒の行動がかなり危険だったことがうかがえました。学校地近くの一通の道から信号のない十字路を横断歩道ではなく、車道の真ん中から飛び出してきたようです。これまでもその一通の道路の真ん中を歩いて下校する生徒があり、注意を重ねてきましたが、今回はそれ以上の状況のようでした。また、つい最近出張の帰りに、米が浜あたりの安浦方面から中央駅に向かう一通の道路で、追いかけてこのように道路を縦横無尽に走り回っている生徒を見つけ注意したところです。職員による下校指導を強化してありますが、ご家庭においてもご指導くださるようお願いいたします。